

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	音楽ビジネス・マネージメント 1	
科目基礎情報					
開設学科	コンサート・イベント科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2 単位	授業形態	講義		
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する。毎回前回講義のまとめを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	本多 功一		実務経験の有無・職種	有・舞台監督、コンサート制作	
学習目的					
卒業後のフィールドの特徴として、専門職が多岐に渡り関連業種と連携して実施している。それらの業務の進め方は決まった一定のパターンがない。そしてゼロからものを生み出していくクリエイティブなスキルや柔軟な思考が求められる。この3点を理解していくことが到達すべき目的である。そのためには業種や職種を理解するところから始まり、エンタテインメント産業のアウトラインを知ることが肝要である。知識を応用していくことで、自分が就く職業がどの業種と関連していくのか、まずは知識として理解する。社会全体の変化のスピードと合わせて音楽ビジネス産業やそれを含めたエンタテインメント産業も求められる資質は変化する。その変化とともに普遍的なものもある。毎回の講義を通じて3つのテーマを身につけ、社会に出たときに適切な判断ができるようになるために、学生は知的好奇心をもって参加し、よく考え、あらゆる環境で対応できるようになることが目的である。					
到達目標					
目的を実現するために、点で得た知識をつなぎ合わせて理解していくこと、各回の冒頭にある要旨の説明に対してなんとなく理解している内容と対比して解決していくこと、今まで得た知識に毎回の知識を重ねていくことで3Dのように立体的に理解をしていくこと、などを目標とする。毎回細かい指示を出す、その指摘を次回までに修正し、また対峙した見解があれば自分の考えとして述べることも目標としていく。					
教育方法等					
授業概要	エンタテインメント産業での業種を理解していくことは、卒業後の仕事内容をイメージしながら取り組むことが大事である。科目の目的を毎回色々な角度からアプローチしていく。音楽産業を含めた社会全体としての必須になる対応なども良い癖として体得していく。個性やオリジナリティ、アイデンティティなど個で主張や特徴はアーティストだけのものではない。アーティストとの共同制作者であるスタッフも同様の意識が持てるようになることも目標としていく。				
注意点	授業開始時に着席し、空欄のノートとシャープペンの芯が出て、すぐ書ける状態でスタンバイをしておく。音楽をはじめとしてエンタテインメントは社会から生まれるものであることから、世の中の動きなどを知るための努力、授業だけではカバーできないエリアなどは、各自義務感ではなく好奇心として捉える癖をつける。他人の意見を否定せず、いったん自分に取り込んで決定する癖を付けていく。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	85%	授業目的を反映した試験により点数により評価をする。単元時に実施する課題の内容、取り組み方、丁寧な表記、正確な文字を評価する。		
	小テスト	0%			
	レポート	10%	単元のまとめとして得たことの理解度を評価する。試験の補完として実施する。		
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	5%	著しい不良な行為のみ減点する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	音楽産業の概要について 1		音楽産業の業種と職種をチャート図で全体像を把握し、業務と金銭のつながりを理解する		
2回	音楽産業の概要について 2		プロダクションの関連業務を理解し、給与と報酬の違いなどを理解する		
3回	プロダクション機能 1		具体的なプロダクション業務を理解し、営業・宣伝・制作を理解する		
4回	記憶とイメージ		印象に残すプロモーションを考察し、記憶してもらうための手法を考察する		
5回	発想法		アイデアを生み出す、多くの視座を得る一つとしての発想法を理解する		
6回	ROCKについて		音楽産業の中心にあるROCKという音楽とその背景について理解する		
7回	安全について		安全第一ということを、各自考え考察する		
8回	プロダクション機能 2		宣伝について、メディア機能と特色を理解して媒体全般の基礎知識を理解する		
9回	プロダクション機能 3		消費者行動と費用対効果を考え、紙・波媒体の効果的な宣伝を理解する		
10回	基本機材について		音楽の成り立ちを機材・楽器の変遷から知り、スタンダードな機材を理解する		
11回	構成譜を作成する		音符を使わない楽曲の構成を理解する		
12回	表方・裏方		舞台端で分ける歌もの・踊りもののコンサート・スタッフの業務を理解する		
13回	コンサートの内側		タイムテーブルから裏方業務とその関係性を理解する		
14回	コンサートの外側		コンセプトから企画、目的から目標を形にしていく過程を理解する		
15回	前期のまとめ		1～14回までの総括と、夏季休暇中の課題の解説（レポート課題）		